

JSPS Information

- ◇日本惑星科学会第171回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会第172回運営委員会議事録
- ◇日本惑星科学会賛助会員名簿
- ◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

◇日本惑星科学会第171回運営委員会議事録

日時:2025年5月25日(日) 17:30 - 19:00

場所:幕張メッセ国際会議場101(現地) + オンライン(Teams Meeting)

運営委員:

出席者 20名

今村 剛, 竝木 則行, 大竹 真紀子
千秋 博紀, 諸田 智克, 黒澤 耕介, 三浦 均, 百瀬 宗武,
瀧川 晶, 横田 勝一郎, 生駒 大洋, 野村 英子,
藤谷 渉, 田中 智, 亀田 真吾, 佐々木 貴教, 鎌田 俊一, 田中 秀和,
坂谷 尚哉, 黒川 宏之

欠席者 3名(委任状:3通)

保井 みなみ, 癸生川 陽子, 野口 里奈

オブザーバー:

- ・成田 2025年秋季講演会組織委員長
- ・吉田 連合大会プログラム委員
- ・渡邊 総務専門委員(事務局担当)

議題・報告事項:

1. 日本地球惑星科学連合:プログラム委員会(吉田 連合大会プログラム委員)

来年度のプログラム委員に丹 秀也会員(正), 坂田 遼弥会員(副)が推薦され, 承認された。

来年度の惑星科学セッションコンビーナに小林 真輝人会員(代表), 辰馬 未沙子会員, 芝池 諭人会員, 平井 英人会員が推薦され, 承認された。

学会の主催セッションは惑星科学, 共催セッションは惑星火山学, 宇宙・惑星探査の将来計画および関連する機器

開発の展望, の2つ.

2. 2025年秋季講演会について(成田 2025年秋季講演会組織委員長)

期間:9月3日(水)-5日(金)

開催場所:東京大学 駒場キャンパス 21KOMCEE

9月4日に懇親会を行う. 一般講演会はなし. 6月12日から参加・発表申込開始, 6月30日に発表申込締切, 7月30日に参加申込・予稿原稿締切. 遊星人の6月号で案内.

プログラム編成にあたってSOCを組織する.

LOCは成田 憲保会員(委員長), 黒川 宏之会員, 福井 暁彦会員, 田崎 亮会員, 瀧川 晶会員.

要望があれば, Opens-0ミッションについて情報共有の場を設けることを検討.

3. 事務局体制の現状について(渡邊 総務専門委員)

事務局体制の現状に関して, 学会名ゆうちょ銀行総合口座の開設, 会費請求リマインダの送付, 入会時の紹介者・指導教員の記入, 事務局業務に関わる学会システム変更時の事務局への相談, 特別業務「学会事務局の情報整理」「財務専門委員会業務補助」, 2026年度の契約について説明がなされた.

4. 2024年度最優秀研究者賞について(百瀬 2024年学会賞選考委員長)

最優秀研究者賞について, 3月24日に応募を締め切り, 4月11日に選考委員全員で審査を行った結果, 大野 和正会員が候補として選出され, 承認された.

また, その選考過程や講評についても説明がなされた.

応募者が2名だったことを受けて, 応募を促すようなメッセージを委員長から出す.

(1) 今年には行わなかったNewsletterへのリマインダ, (2) 成果につながりにくいが惑星科学コミュニティにとって重要な活動を評価するため, 評価推薦者とは別に「意見を聞ける方」を挙げてもらうこと, が将来の検討事項.

5. 第17期下期決算(横田 財務専門委員長)

決算報告書に基づいて説明がなされた.

一般会計の収入合計は7,742,148円. 一般会計の支出合計は10,566,692円で2,824,544円の赤字.

支出では学会誌出版の費用が上がっている.

管理費(委託事務関連)では契約形態が変わったことにより支出が増加. 管理費(事務局関連)ではサーバ基礎開発費の支出が増.

6. 第18期上期予算執行状況(横田 財務専門委員長)

収入はおおよそ予算案どおり. ただし, 学会誌出版費と管理費(事務局関連)は増加し, 2,600千円程度の赤字が続く見込み.

280名の会員が会費を支払い済み, 361名が未納. 未納者に同報メールを流してから振込数が増加.

匿名の方より寄付金(10万円)があり, 発表賞の賞金に使われる.

200万円の赤字について, 対策は?→会費を上げるのが現実的か.

どのくらい上げる?→2.3割の値上げ.

学会誌を印刷しないようにするのはどうか?→学会誌の電子化を検討する必要あり. 昨年の総会で情報の頭出しをしている. 今後, 学会の財政状況を共有した上で, 電子化について会員にアンケートをとることになった.

会費の話と遊星人の話はセットですべき。紙媒体の完全廃止で会費2,000円値上げ、そのままだと4,000円値上げする必要あり。

支出は現在の事務局体制に基づいており、そのまま継続するわけではない。

会費の改訂については誰が進めるのか?→竝木副会長が原案を作成。

7. 遊星人の発行状況報告(三浦 編集専門委員長)

つつがなく発行できている旨、報告があった。2025年3月号まで発行済。6月号の発行準備中。

8. 事務局体制の検討状況について(諸田 事務局体制検討作業部会長)

検討状況について報告がなされた。JpGU新システムではグループ管理やML管理の機能が追加される予定であり、既存の商用システムと比較して、惑星サーバに近いものになる。しかし、ホームページは別途立ち上げる必要がある点、会員種別の設定の自由度などがどの程度あるか、などは今後確認・調整が必要である。また、新システムの開発が遅れていることもあり、利用料などの調整はまだできていない。2027年度に新体制からの移行が必須となっていることから、2025年9月の秋季講演会の総会では事務局体制の方針を示す必要がある。今後、定期的に運営委員会に調整状況について報告することとなった。

9. 学会賞選考委員の入れ替え(藤谷 総務専門委員長)

2025年度学会賞選考員に平野 照幸会員(委員長)、瀧川 晶会員(監事)、高木 征弘会員(以上、2024年度から留任)、木村 淳会員、長 勇一郎会員、寫生 有理会員、國友 正信会員、藪田 ひかる会員(以上、2025年度に新任。ただし藪田会員は2025年度のための一年任期とする)、の8名が推薦され、承認された。

10. 第17期下期活動報告、第18期上期活動計画(藤谷 総務専門委員長)

活動報告書・活動計画書に基づいて報告がなされ、承認された。

11. 入退会状況報告(藤谷 総務専門委員長)

2025年5月25日現在の会員数について、報告がなされた。正会員一般:523、正会員学生:110、シニア会員:49、賛助会員: 3。

賛助会員3社のうち1社は退会申請をしている。今後、会長や副会長を中心に、知り合いの会社等に宣伝して賛助会員を増やす努力をする必要がある。その際、賛助会員になったときのメリットを強調。

12. 第63回総会の議長・書記の推薦について(藤谷 総務専門委員長)

第63回総会の議長に丹 秀也会員(JAMSTEC)、書記に池田 あやめ会員(産総研)が推薦され、承認された。

13. その他

2026年に日韓共同のワークショップを企画中。惑星科学会との共催としたい。

以上

◇日本惑星科学会第172回運営委員会議事録

期間:2025年6月17日(火)～6月23日(月)

議題:JpGU-AGU 2026の惑星科学 セッションの開催形態について

運営委員会委員:

出席(22名)

今村 剛, 竝木 則行, 大竹 真紀子

千秋 博紀, 諸田 智克, 黒澤 耕介, 三浦 均, 百瀬 宗武,

瀧川 晶, 保井 みなみ, 横田 勝一郎, 癸生川 陽子, 生駒 大洋, 野村 英子,

藤谷 渉, 田中 智, 亀田 真吾, 佐々木 貴教, 野口里奈, 鎌田 俊一, 田中 秀和,

坂谷 尚哉, 黒川 宏之

欠席(1名)

大竹 真紀子

成立条件:期間内に議決返信のあった者を委員会出席とみなす.

議決方法:上記期間内にgoogle formから回答.

議題:

2026年のJpGU-AGU合同開催における「惑星科学」セッションを英語セッションとすることについて, 承認を求める.

*形式的には惑星科学会は共催学協会ではないが, これまでの経緯から学会として意見を取りまとめることとする.

*再来年以降の方針については改めて議論するものであり, 今回の決定は影響しない.

審議結果:

議案は原案のとおり承認された(可17・否5)

以上

◇賛助会員名簿

2025年9月25日までに、賛助会員として本学会にご協力下さった団体は以下の通りです。社名等を掲載し、敬意と感謝の意を表します。(五十音順)

- ・NV5 Geospatial 株式会社
- ・株式会社ノビテック

◇日本惑星科学会主催・共催・協賛・後援の研究会情報

(a) 場所, (b) 主催者, (c) ウェブページ/連絡先など。

転記ミス, 原稿作成後に変更等があるかもしれません。各自でご確認ください。

* 2025/9

** 2025年9月17日(水)-9月19日(金)日本流体力学会 年会2025

- (a) 大阪公立大学中百舌鳥キャンパス
- (b) 日本流体力学会
- (c) 問い合わせ先: 日本流体力学会年会2025実行委員会 (gr-eng-jsfm2025@omu.ac.jp)

* 2025/11

** 2025年11月25日(火)-11月28日(金)第69回宇宙科学技術連合講演会

- (a) 札幌コンベンションセンター
- (b) 日本航空宇宙学会
- (c) <https://smartconf.jp/content/sstc69/>